

電氣設備工事特記仕様書

I	工事名称	新居小学校屋内運動場大規模改造工事		
II	工事場所	伊賀市 西高倉地内		
III	建物概要			
	建物名称	構 造	延面積 (㎡)	消法令の適用
	屋内運動場	鉄骨造 2 階建て	532.00㎡	

IV 工事仕様

項 目	特 記 事 項
1. 施行基準	図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。 * 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書 最新版」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築設備工事標準図 最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築改修工事標準仕様書 最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」 最新版 * 国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」 * 電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準） * 電力会社供給約款 * 消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む） * 電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 * その他関連法規、関連諸基準
2. 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することでも将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。
・施工計画等	受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。 * 総合施工計画書 * 詳細施工図（施工図リストを含む） なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。
・工事使用材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。 * 使用機材届出書（メーカーリスト） * 機器明細図 * カタログ・製作図・その他諸資料 なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー（参考）及び国土交通省大臣営繕部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿（最新版）又はこれらと同等以上のものとする。 また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。
・工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。
・工事写真	国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂第3版）―建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。 * なお C D の提出部数は「電子納品」を参照 * 代表写真（不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、搬出状況等）を抽出し L 判相当サイズで印刷。（A 4 版用紙に両面印刷にて 3 枚／ページ） 1 部
・完成写真	主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、L 判相当サイズで印刷する。 （A 4 版用紙に 3 枚／ページ） 1 部 撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。
・完成書類	工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。 書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。 * 工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 * 製本図面（竣工図）：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 竣工図は、原図サイズ及び A 3 縮小版を各 2 部・施工図は、原図サイズ 1 部。 白焼き（青焼き不可）で文字潰れないこと。表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、受注者名」を印字（シール不可）すること。 * 引渡目録、工事書類預り書 * 工事書類（工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等） * 工事書類（打合記録、工事材料搬入報告） * 完成図書（試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等） * 官公署手続き書類等（検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等） * その他監督員の指示する書類 ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。 なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。
・完成確認、完成検査時の電源確保	機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。

項目	特記事項
・施工条件	監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。
・事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
・発生材の処理等	引き渡しを要するもの（ ） 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 特別管理産業廃棄物 □変圧器 □コンデンサ □その他（ ） 処理方法 ■現場内の監督員の指定する場所へ保管 なお施工に際して、ＰＣＢ等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を発見した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生资源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。 （マニフェストＥ票の写を監督員に提出する）
・残土処分	□構内敷きならし □構外搬出（片道運搬距離 約 kｍ）
・電子納品	工事完成図書は、竣工図・施工図のＣＡＤデータ（ＪＷＷ）及びＰＤＦを格納。
・諸手続	工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。
・消防提出書類	消火器の設置届については、電気設備にて設置届を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。ただし機械設備にて設置届を提出する必要がある場合は機械設備に含めるものとする。防火対象物使用開始届については書類の作成（電気設備図面の用意及び電気設備に関する部分の記述）を行うこと。
・既設との取合い	本工事中施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
・既設設備の調査	既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に十分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前に絶縁抵抗測定を行っておくこと。
・工事中の保安管理	新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。
・不当介入を受けた場合の措置	暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第２条第１項第１０号）を受けた場合の措置について （１）受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第２条第１項第８号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 （２）（１）により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。 （３）受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
３．耐震基準	耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成８年版」（建設大臣官房長官庁営繕部監修）及び「建築設備耐震設計・施工指針（２００５年版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修）による。 （１）局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度（Ｋｓ） （２）地域係数は１．０とする。 （３）自重が１００ｋｇ以下の比較的軽量の機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）の取付については、取付下地を念入に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。 （４）配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。 （５）機器の耐震計算書を提出すること。 重量１ｋＮ（１００ｋｇ）以上のアンカー取付機器 ※盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。
４．施工	（１）塗装 ・指定色で２回塗りとする。 金属管、２種金属線ぴ、吊りボルト、支持具等鋼板製（ＳＵＳ、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く）は原則として塗装を施すこと。 （２）先行表示等 ・分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び先行の表示を施すこと。 （３）セパレータ ・分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。 （４）保護キャップ等 ・レースウェイ等のダクトクリップが、人が容易に近づける場所、高さ（およそ２ｍ以下）にある場合は保護キャップを取り付けること。 （５）地中埋設配管及び埋設表示杭・シント （６）防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。
５．その他	（１）使用機械 ・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 （２）測定機器の校正記録 ・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。 （３）設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。

工事範囲	
● 電灯コンセント設備	電気方式 種別 ○ 単相3線式 (200/100V) ● 単相2線式 (● 100V ○ 200V ○ () V) 工事範囲 ● 配管 ● 配線 ● 機器取付 ○ 配線器具 ● 特別なものを除き大型型とする プレート ● 新金属 ○ ステンレス ○ フルカラー () 照明器具 ● LED器具を優先とする。 ○ バイブ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。 その他
● トイレ呼出設備	工事範囲 ● 配管 ● 配線 ● 機器取付 ○ ELV用配管配線 種 別 ○ 住宅用 ○ 業務用 ○ 集合住宅 ○ ナースコール ● 身障者呼出装置 通話方式 ○ 交互通話 ○ 親子式 ○ 同時通話 附属機能 ○ 電気錠解錠 ○ ガス漏れ警報 ○ 非常押釦 その他
● 弱電・火災報設備	工事範囲 ● 配管 ● 配線 ● 機器取付 ● 消防検査申請費 種 別 ○ 電話設備 ○ テレビ設備 ● 放送設備 ● 自動火災報知設備 既設受信機 P型 1級10回線 単独 複合型 (防火扉 回線+ガス漏れ 回線)

電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト

分 類	資 機 材 名	適 用 範 囲	規 格 ・ メ ー カ ー 等
電線	電線、ケーブル類 (エコ電線・ケーブルを優先使用)	一般配線工事に使用する もので、エコ電線・ケーブルのあるもの	● J I S 規格適合品 ● J C S (日本電線工業会規格) 規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	● J I S 規格適合品
	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする 場所を使用するもの	●登録認定機関((社) 電線総合技術センター) または指定認定機関((社) 日本電線工業会「耐火・耐熱電線認定業務委員会」)) により認定または評定されたもの ● (社) 日本電線工業会により自主認定(評定) されたもの
	圧着端子 裸圧着スリーブ	一般配線工事に使用する もの	● J I S 規格適合品
電線保護用材	金属管、V E、P F、H I V E、F E P、C D、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品	一般配線工事に使用する もの	● J I S 規格適合品 ● J I S 規格のない物にあつては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般配線工事に使用する もの	● J I S 規格適合品 ● J I S 規格のない物にあつては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具 (省エネ型を優先使用)		● J I S 規格適合品 ● (社) 日本照明器具工業会標準 (J I L 規格) 適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
盤類	分電盤、実験盤		● J I S 規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	制御盤		● (社) 日本配電制御システム工業会規格 (J S I A) 適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
自動火災報知装置	感知器、発信機、中継器、受信機、漏電火災警報器		●登録検定機関(日本消防検定協会) の検定を受け、検定合格証票が貼付されたもの

・「I S規格適合品」と指定された材料は、工業標準化法に基づく適合の表示（製品、包装の外函、容器の外函、結束帯等）との納品票に「I Sマーク」を付し、または「I S規格証明書等の添付」によるものとする。

・「設備機材等評価品名」とは、国土交通省官庁官庁管理部建築「建築物、設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（電気設備 機 材 設備機材）」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアプターサービス地区の中部地区に中部地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。

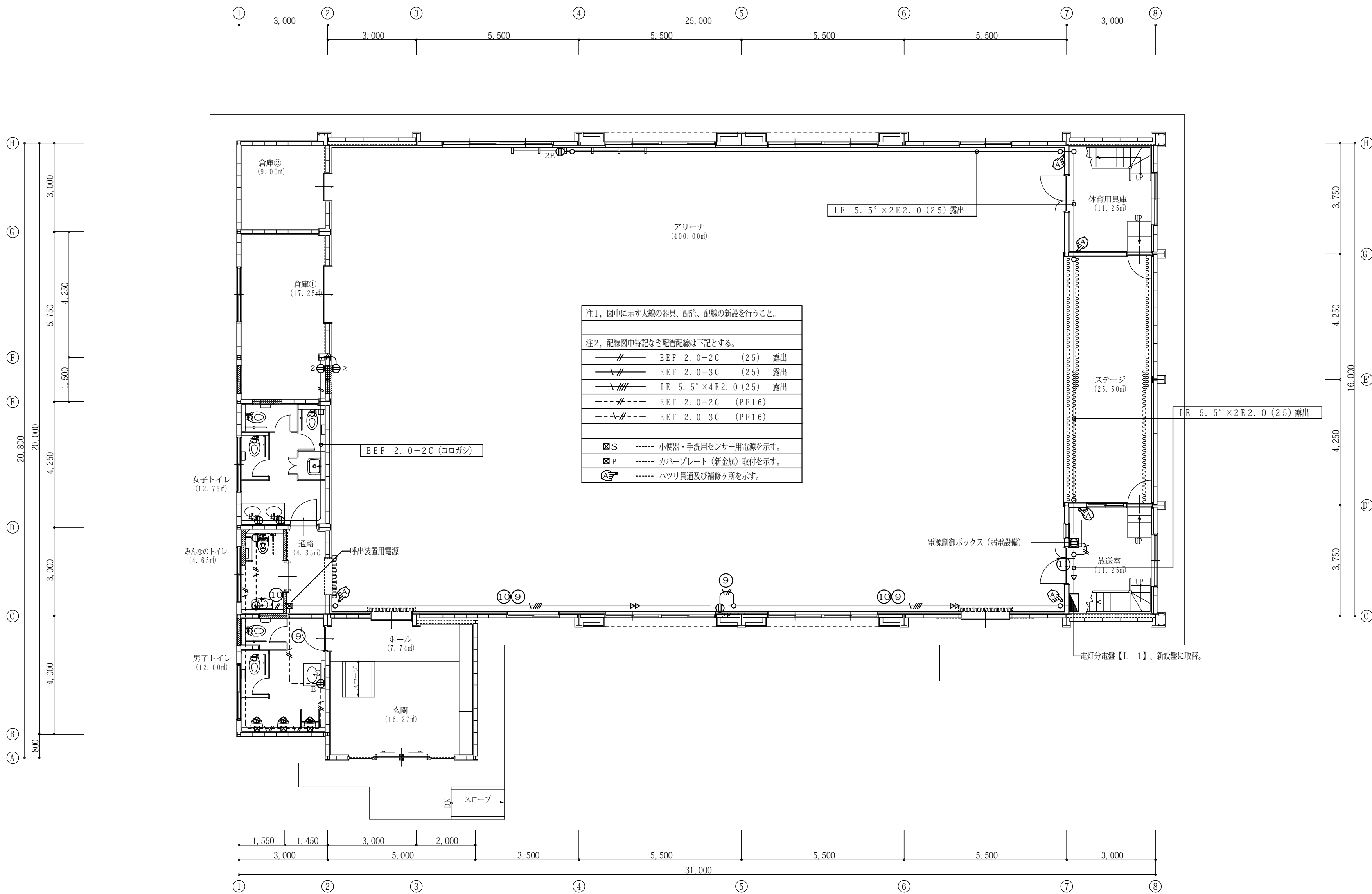
・「設備機材等評価品名」に記載されていないメーカーの資材を使用する場合は、評価基準と同条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

・特殊仕様・仕様を使用する必要がある場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

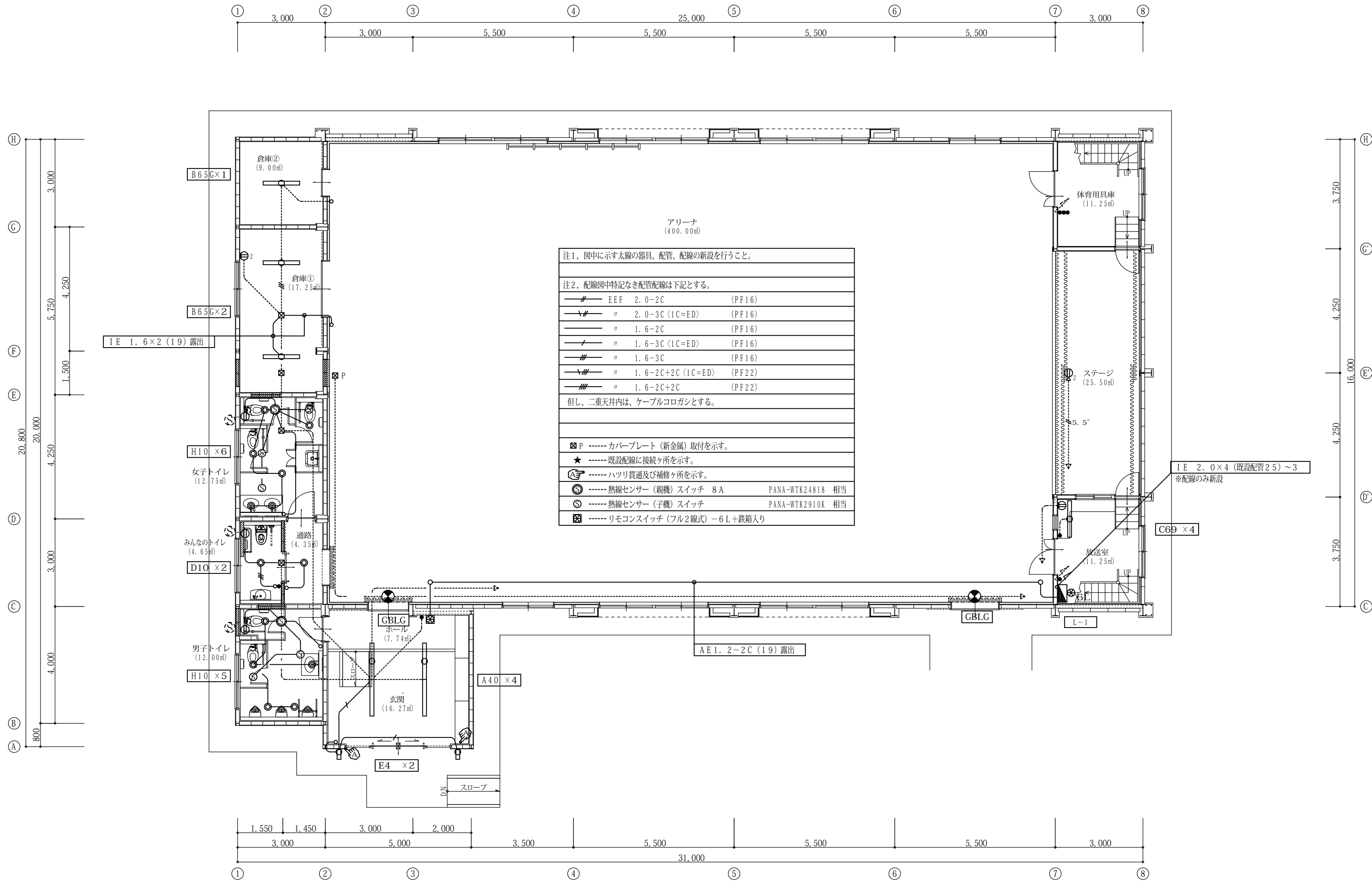
凡 例

記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	盤類結線図参照	● ～ 	スイッチ 1P15A×1～6	新金属プレート
	動力分電盤	〃	● 3 , ● 4	〃 3W15A, 4W15A	〃
	接地極		○	〃 1P15A (ONバク) ×1	〃
	手元開閉器		㊦, ㊦2	コンセント 2P15A×1, 2P15A×2	〃
	照明器具 天井取付け	器具姿図参照	㊦2E	〃 2P15A, E×2+E, T	〃
	〃 壁付け	〃	㊦	テレビ受け口 (75Ω)	〃
	天井換気扇、壁付け換気扇 (設備工事)		㊦	インターホン	別図参照

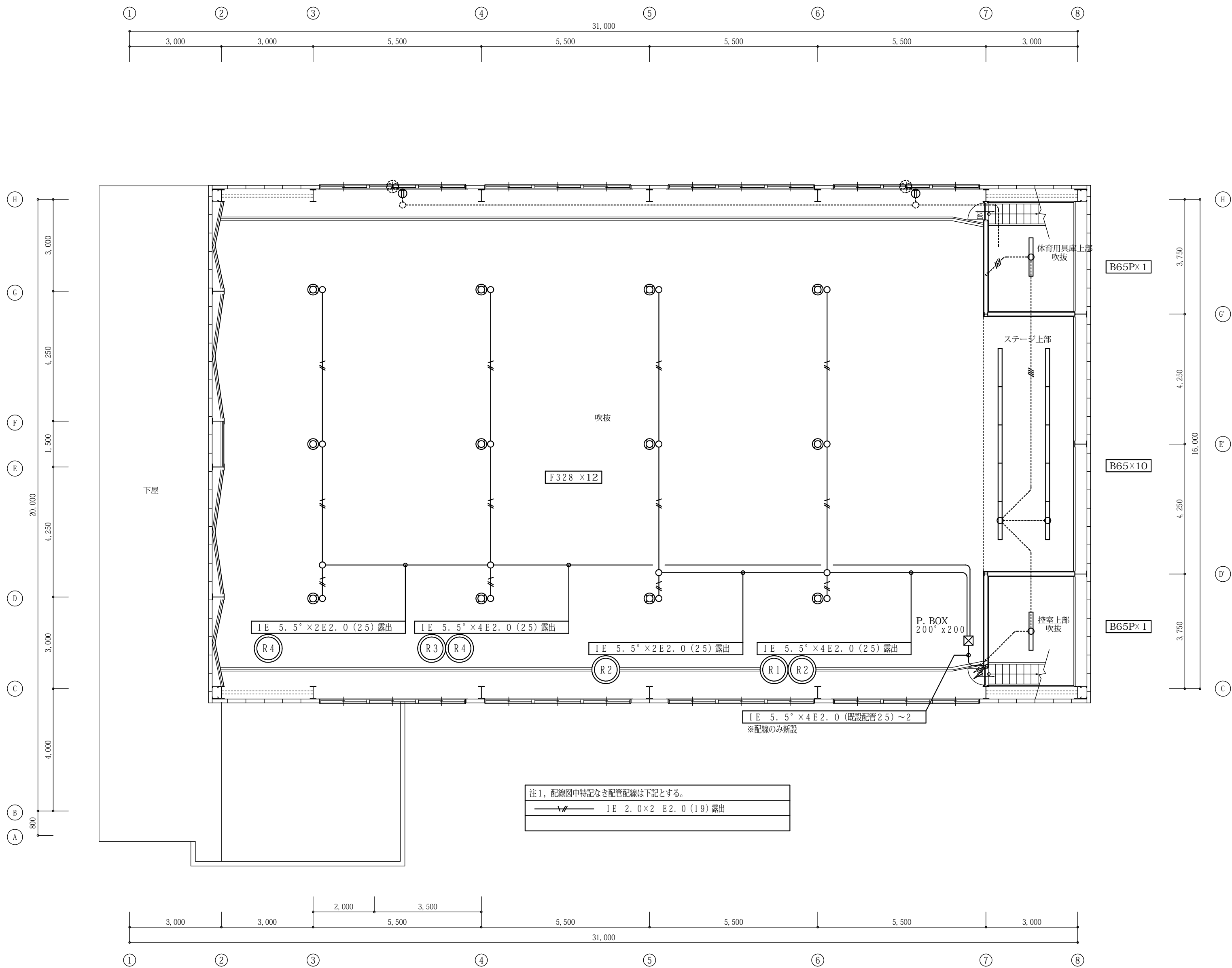
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 特記仕様書			SCALE	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-1(18)	



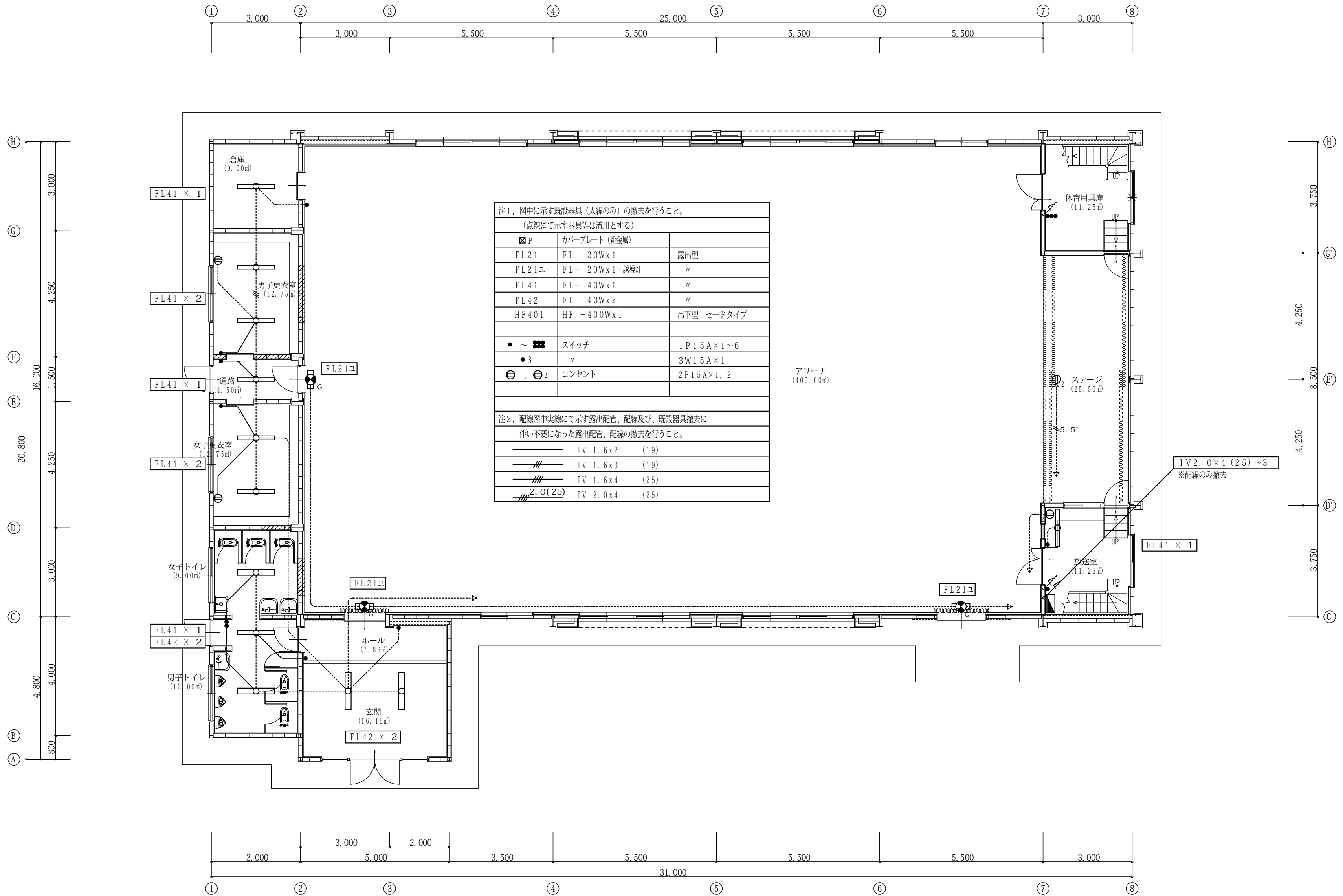
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 コンセント設備図 (1階) 改修後			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-3	



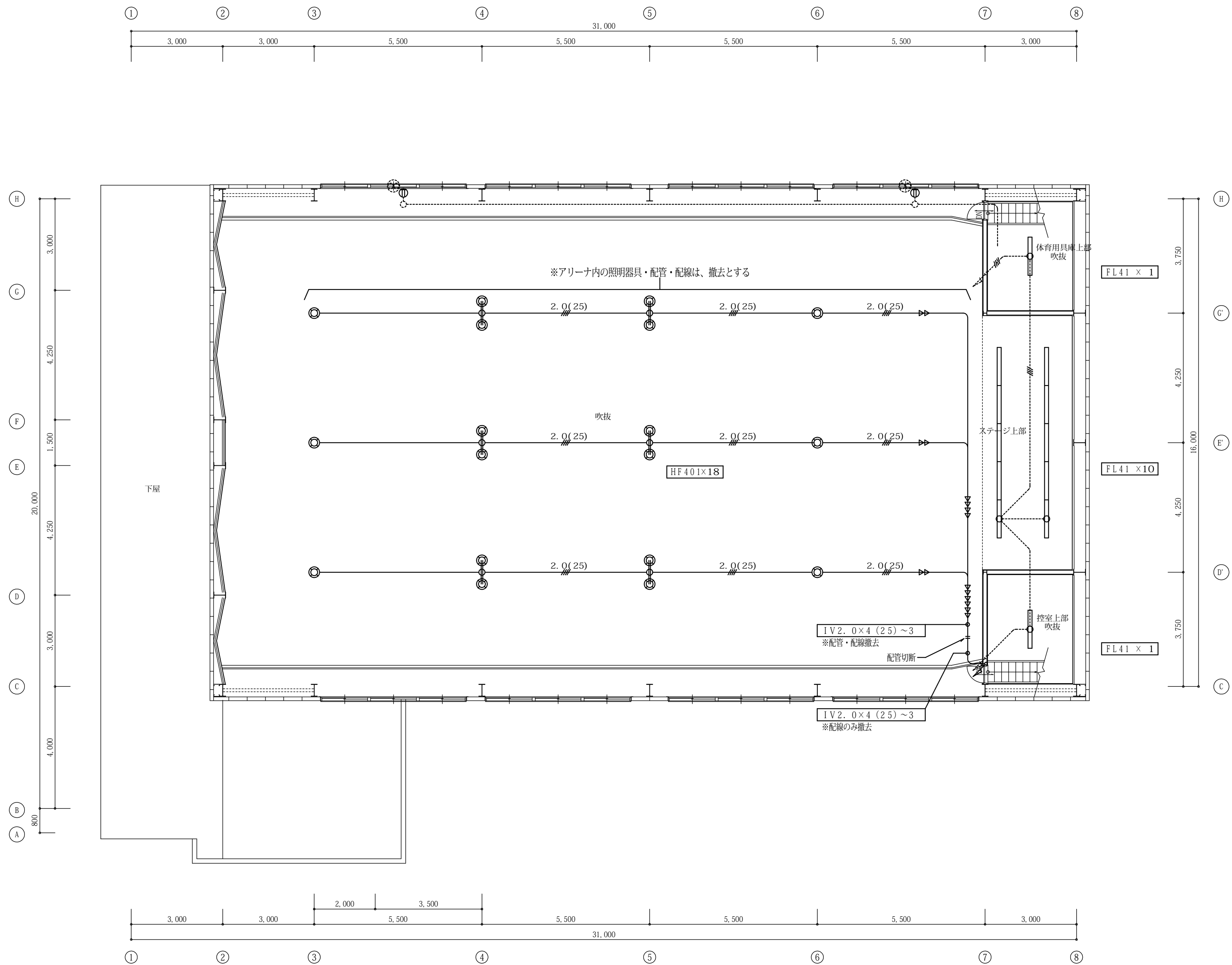
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 電灯照明設備図 (1階) 改修後			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-4	



PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 電灯照明設備図 (2階) 改修後			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-5	



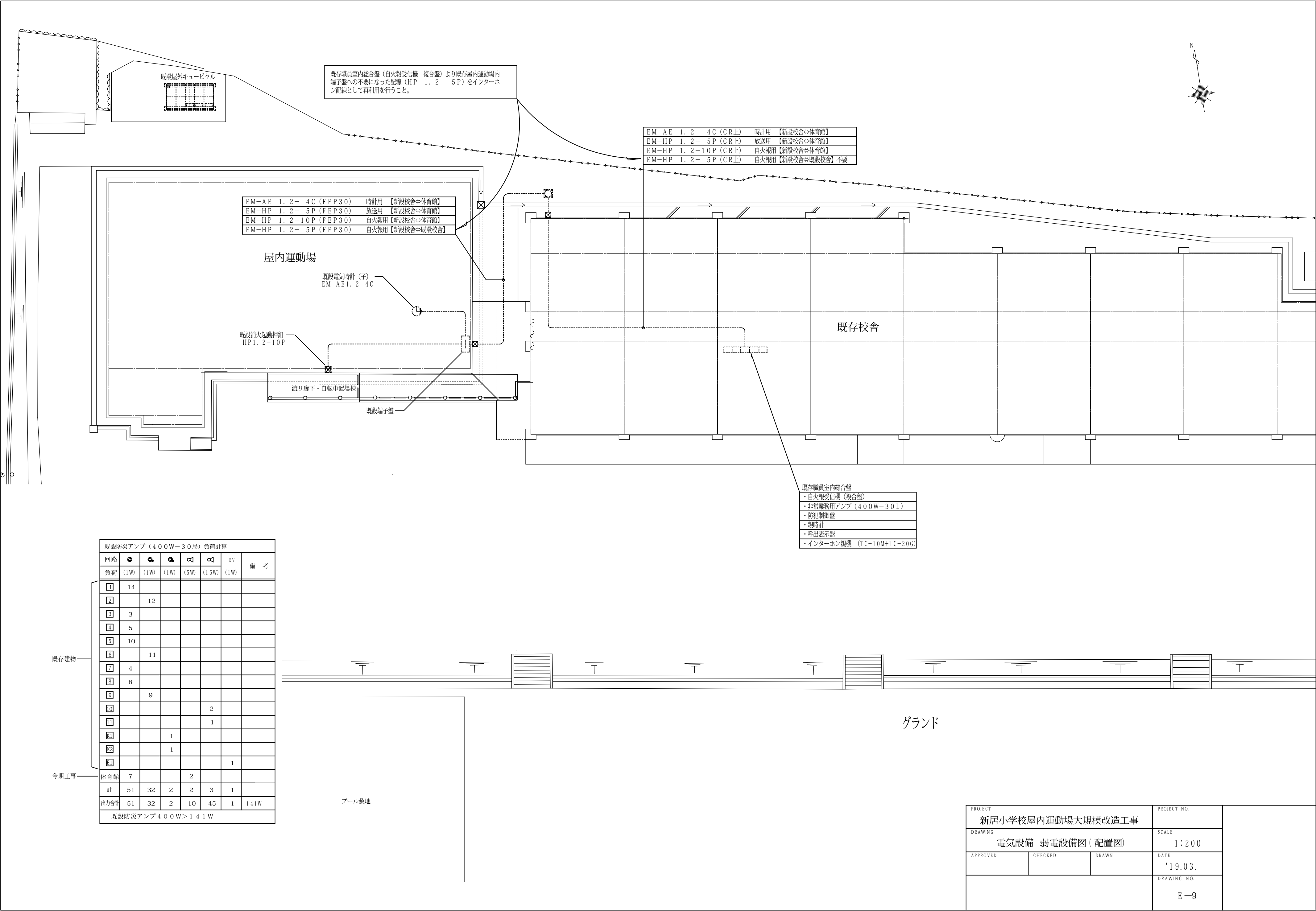
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 電灯照明設備図 (1階) 撤去図			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-6	



PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 電灯照明設備図 (2階) 撤去図			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-7	

[illegible]

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電氣設備 弱電器具姿図			SCALE	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-8	



既存職員室内総合盤（自火報受信機・複合盤）より既存屋内運動場内端子盤への不要になった配線（HP 1. 2－ 5 P）をインターホン配線として再利用を行うこと。

EM-AE	1. 2－ 4 C	(CR上)	時計用	【新設校舎⇄体育館】
EM-HP	1. 2－ 5 P	(CR上)	放送用	【新設校舎⇄体育館】
EM-HP	1. 2－10 P	(CR上)	自火報用	【新設校舎⇄体育館】
EM-HP	1. 2－ 5 P	(CR上)	自火報用	【新設校舎⇄既存校舎】 不要

EM-AE	1. 2－ 4 C	(FEP30)	時計用	【新設校舎⇄体育館】
EM-HP	1. 2－ 5 P	(FEP30)	放送用	【新設校舎⇄体育館】
EM-HP	1. 2－10 P	(FEP30)	自火報用	【新設校舎⇄体育館】
EM-HP	1. 2－ 5 P	(FEP30)	自火報用	【新設校舎⇄既存校舎】

既設電気時計 (子)
EM-AE1. 2-4C

既設消火起動押釦
HP1. 2-10P

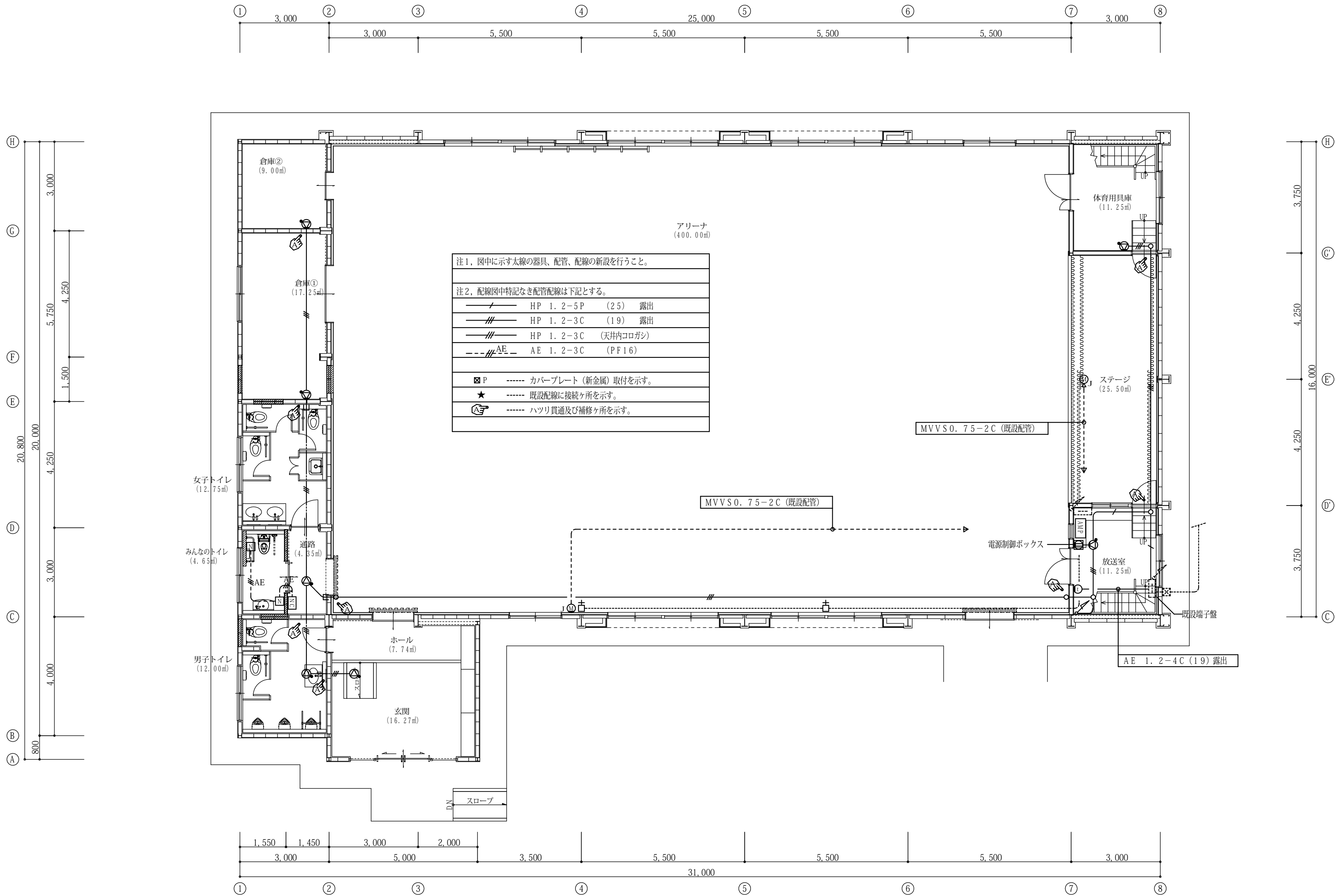
渡り廊下・自転車置場棟

既設端子盤

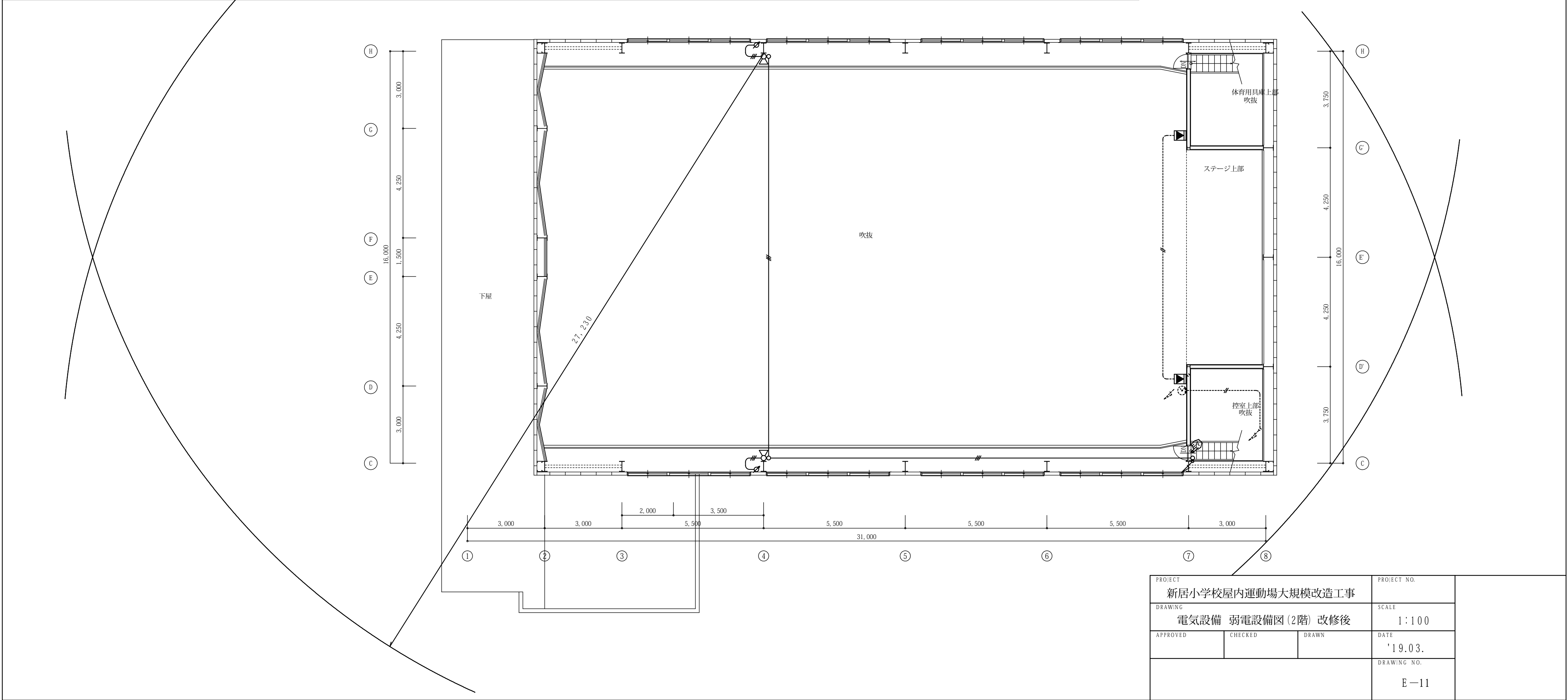
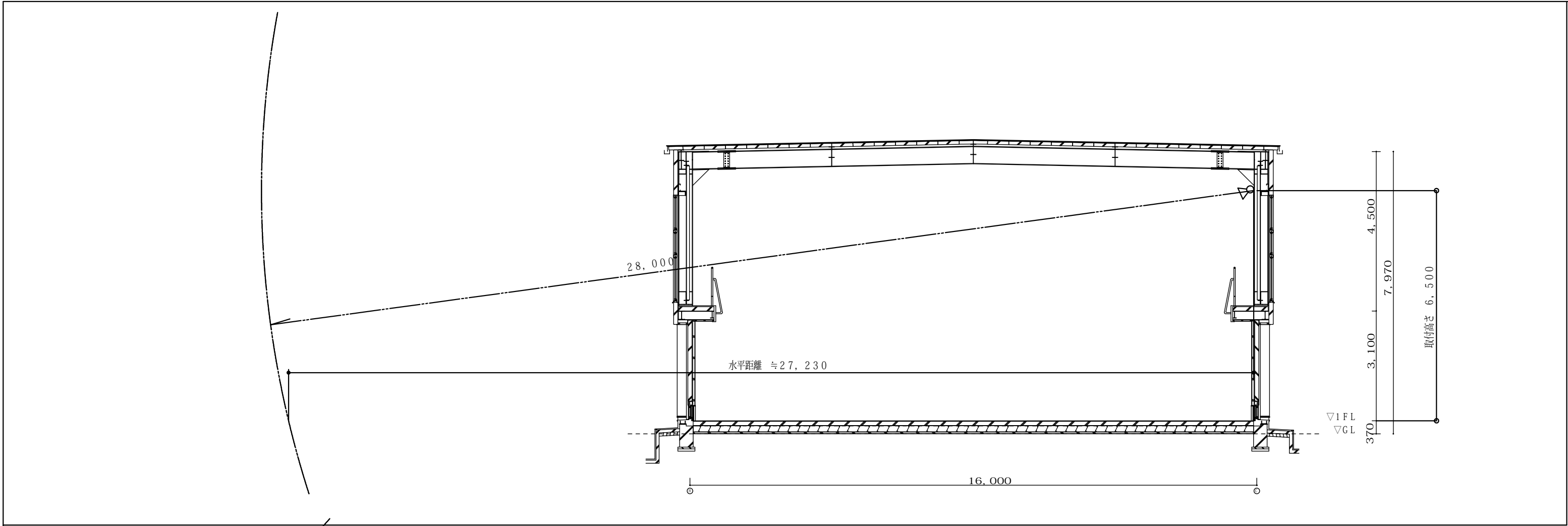
既存職員室内総合盤
・自火報受信機（複合盤）
・非常業務用アンプ（400W-30L）
・防犯制御盤
・親時計
・呼出表示器
・インターホン親機（TC-10M+TC-20C）

既設防災アンプ（400W-30局）負荷計算							
回路						EV	備考
負荷	(1W)	(1W)	(1W)	(5W)	(1.5W)	(1W)	
1	14						
2		12					
3	3						
4	5						
5	10						
6		11					
7	4						
8	8						
9		9					
10					2		
11					1		
K1			1				
K2			1				
E1						1	
体育館	7			2			
計	51	32	2	2	3	1	
出力合計	51	32	2	10	45	1	141W
既設防災アンプ400W>141W							

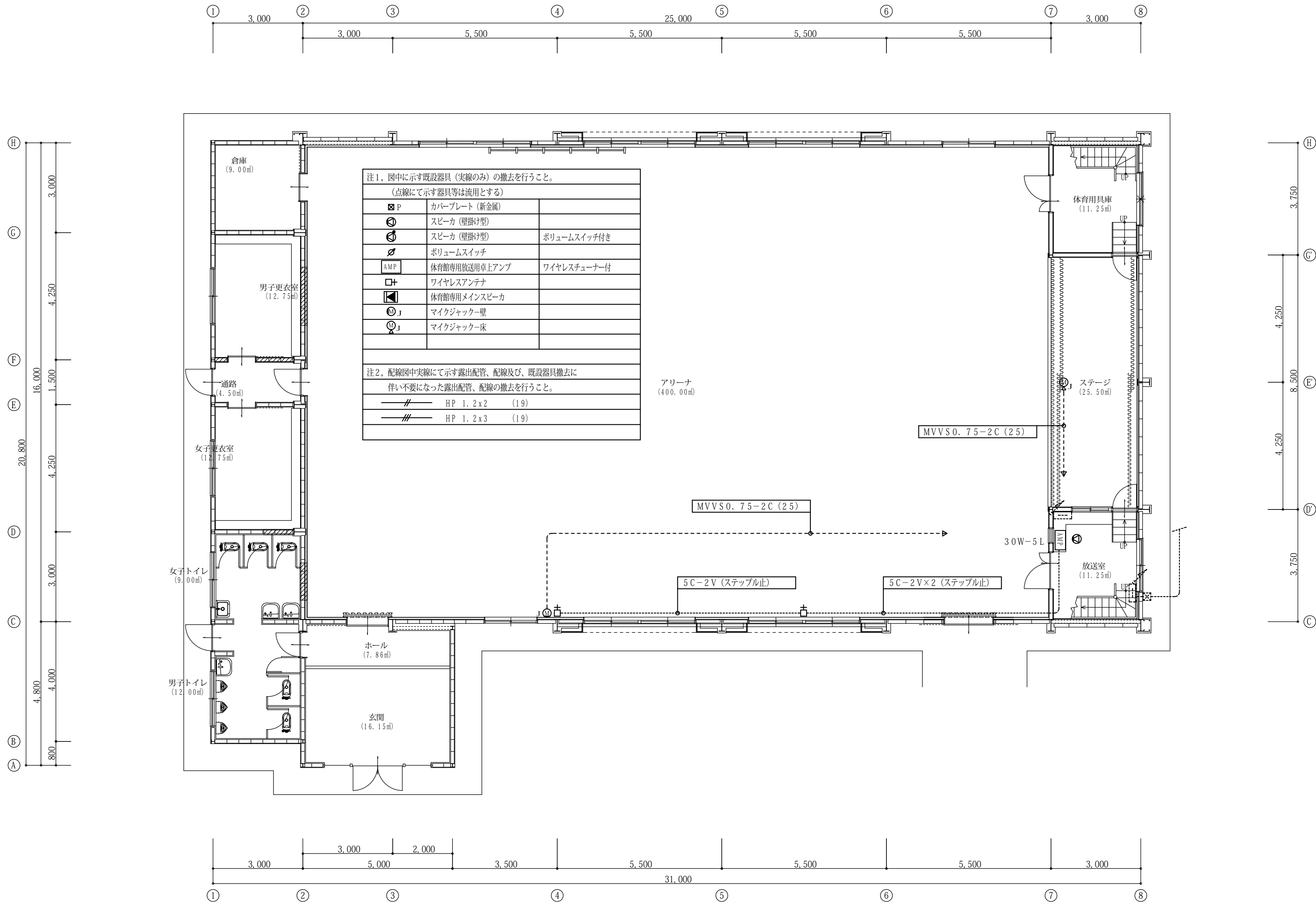
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 弱電設備図 (配置図)			SCALE 1:200	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-9	



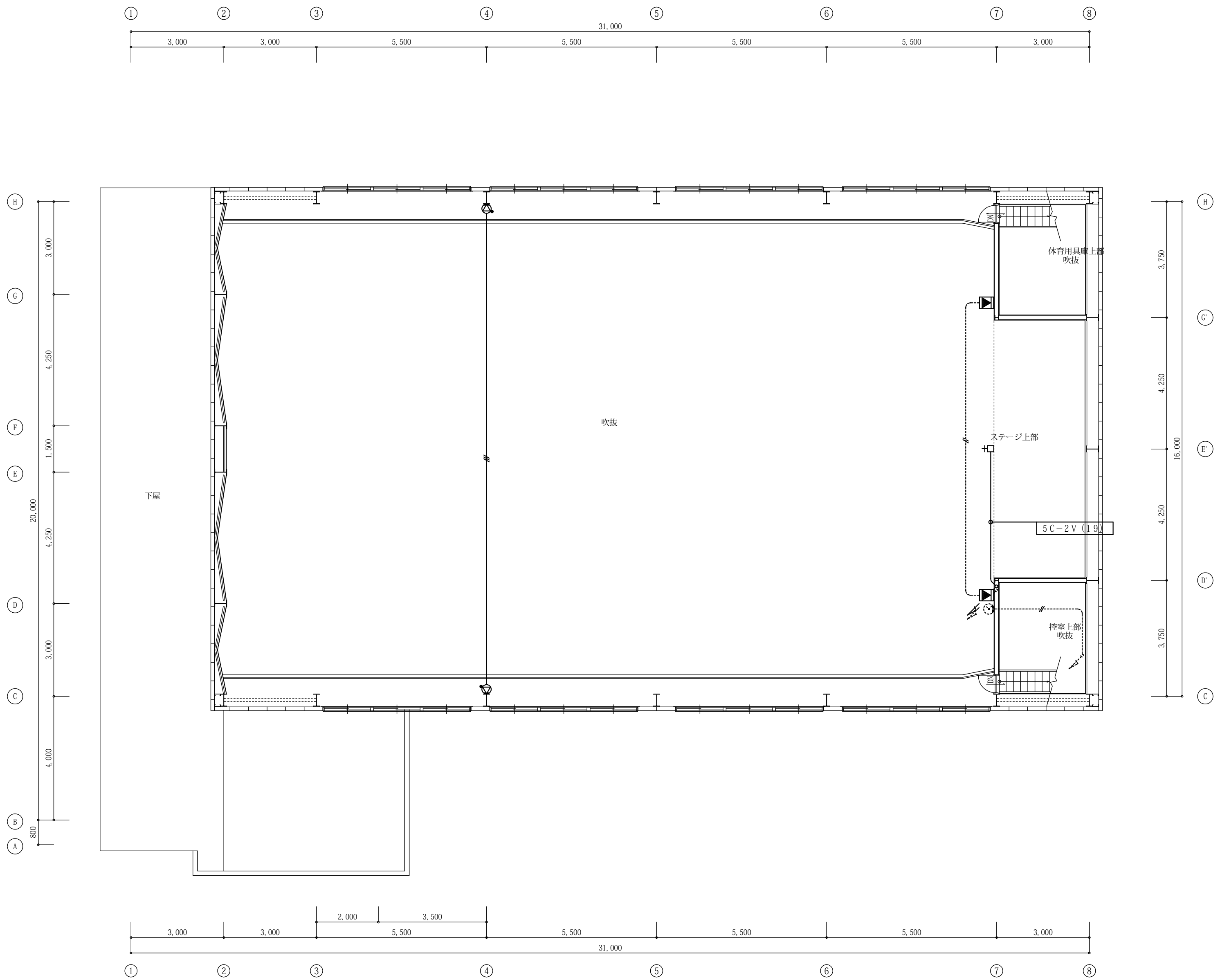
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 弱電設備図 (1階) 改修後			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-10	



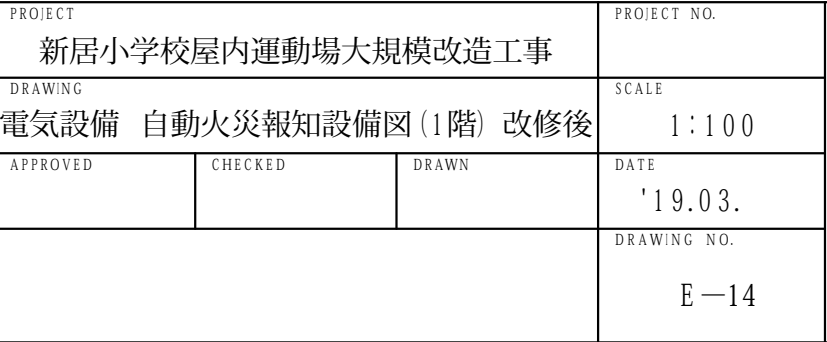
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備 弱电設備図 (2階) 改修後			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. E-11

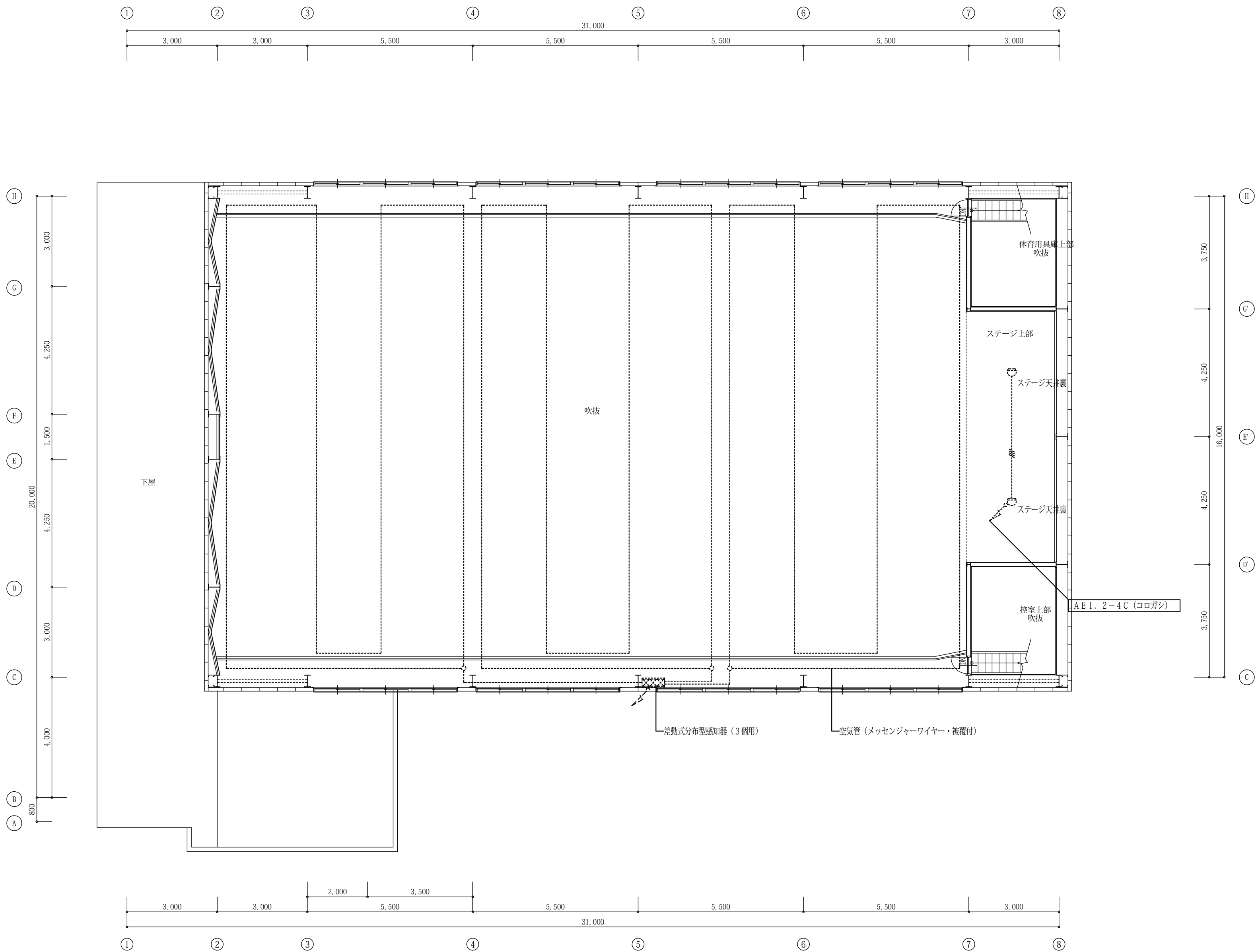


PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 弱電設備図(1階) 撤去図			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO.	
			E-12	

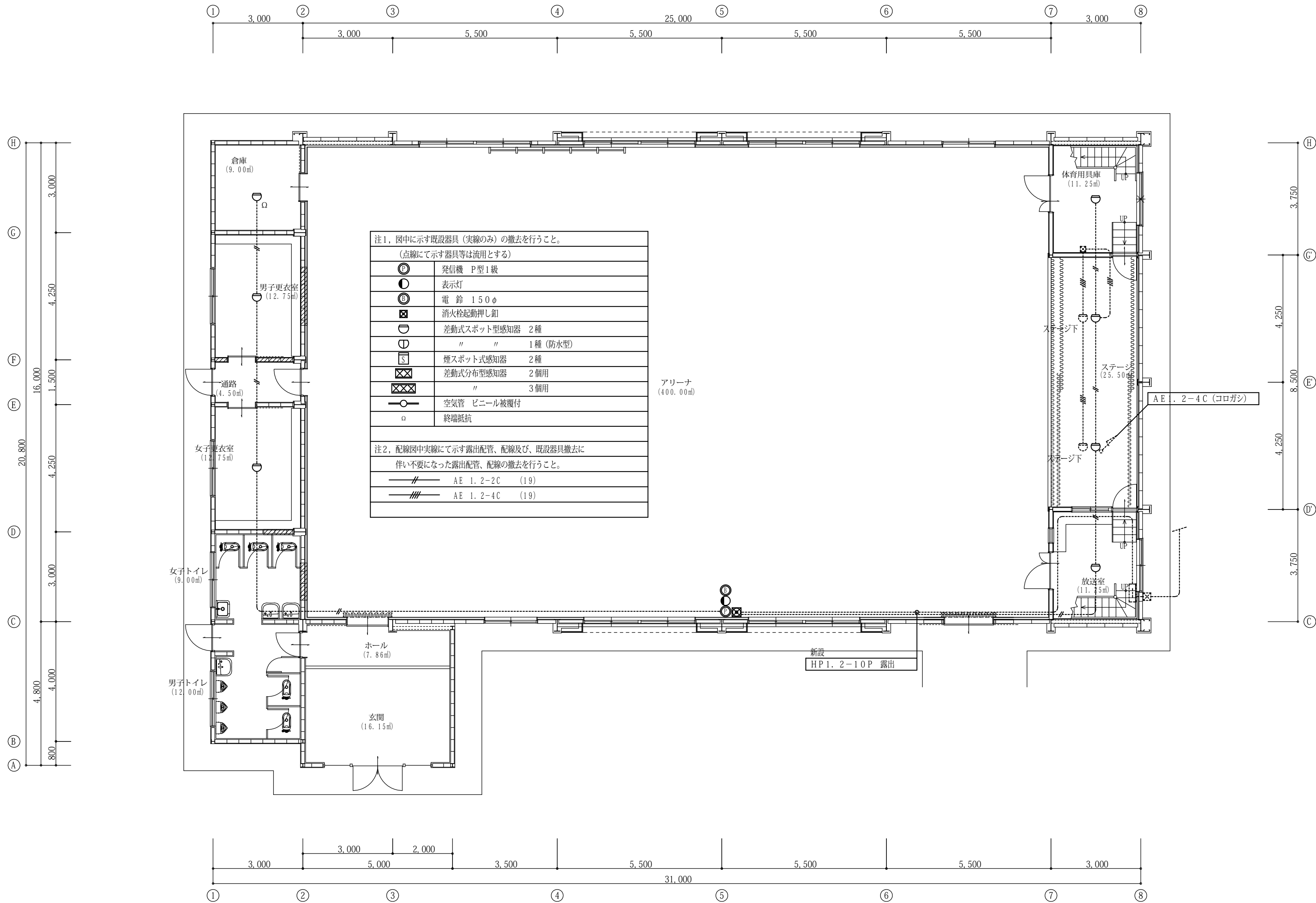


PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 弱電設備図 (2階) 撤去図			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-13	

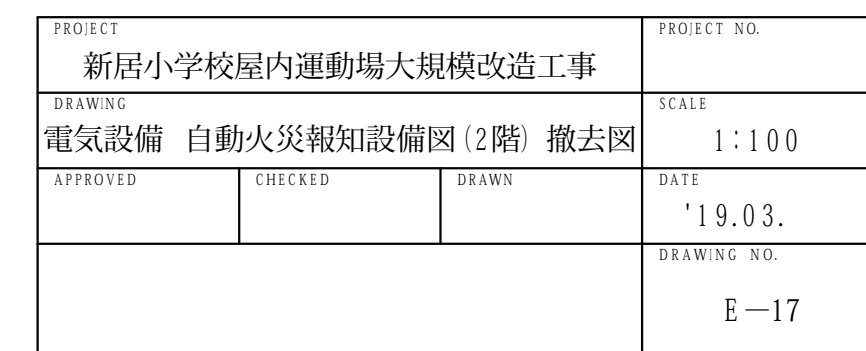




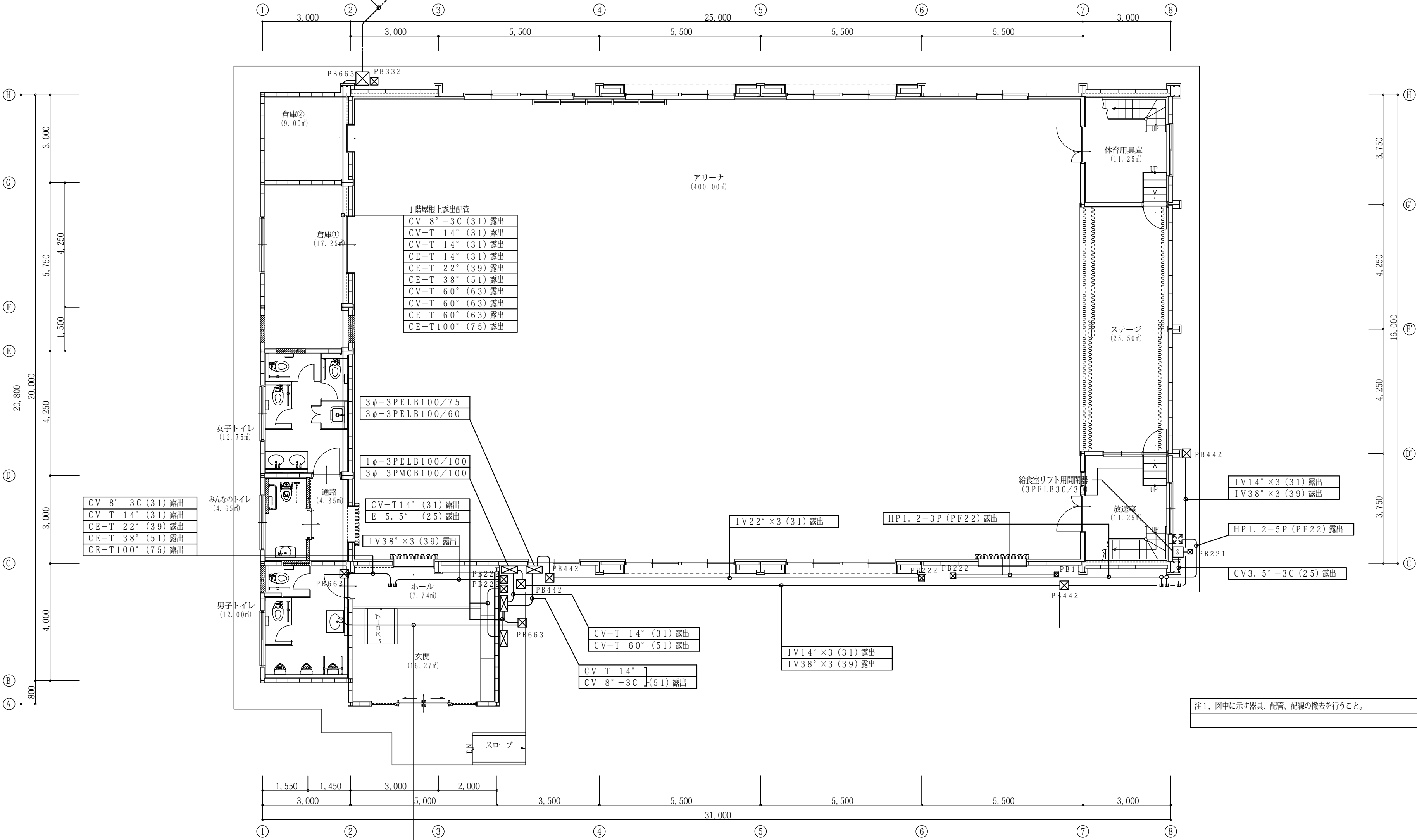
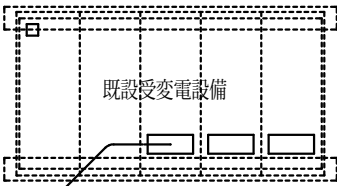
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 自動火災報知設備図 (2階) 改修後			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-15	



PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 自動火災報知設備図(1階) 撤去図			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-16	



CV 8°-3C (FEP30)
CV-T 14° (FEP30)
CV-T 14° (FEP30)
CE-T 14° (FEP30)
CE-T 22° (FEP65)
CE-T 38° (FEP65)
CV-T 60° (FEP65)
CV-T 60° (FEP65)
CE-T 60° (FEP65)
CE-T 100° (FEP80)
※配管は、露出部分のみ撤去



注1、図中に示す器具、配管、配線の撤去を行うこと。

CV 8°-3C (31) 露出
CV-T 14° (31) 露出
CV-T 14° (31) 露出
CE-T 14° (31) 露出
CV-T 60° (63) 露出
CV-T 60° (63) 露出
CE-T 60° (63) 露出

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 電気設備 既設設備撤去図			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. E-18(E)	

機械設備工事特記仕様書

●印を付けたものを本工事に適用する。

建築概要

工事名称

新居小学校屋内運動場大規模改造工事

工事場所

三重県伊賀市 地内

* 建築仕様書参照

建物名称

構造

階数

延べ面積

備考

屋内運動場

R C造

1階建て

532.00㎡

一般事項

適用仕様書

● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」
「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」
「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」
「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」
● 空気調和・衛生工学会規格
● 日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」
● 所轄水道局 ○ ガス供給社内規 ● 消防関係法規（所轄署指導要綱含む） ● その他関連法規

優先順位

1. 現場説明事項・質疑応答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 工事共通仕様書

申請手続

工事に伴う官公署への申請・届出は請負者において行う。これに伴う費用も本工事の含む。

疑義

設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議する事。

変更

設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。

工程表

実施工程表、月間工程表を関連業者間にて十分協議して作成し、監督員に提出する。

施工図

請負者は施工に先立ち、施工計画書、工種別施工要領書、施工図等を作成し、監督員と打ち合わせを行うこと。
施工図等の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討する。

機器及び材料等

工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機器届出書（メーカーリスト）、機器図明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届けること。尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカーの選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に務める。

完成図書

工事完成の上は各種の試験、検査を受け許河済証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取壊説明書等 とりまとめ提出すること。
完成図原1部、背規A3版2つ製本（文字入、表紙、背規）2部、背規A2版2つ製本（文字入、表紙、背規）2部、完成図面電子データ）WW形式CDR1枚

工事写真

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂版）―建築設備編」によるほか、監督員の指示により撮影し提出する。
全写真のサムネールを印刷したもの（A4版）1部、代表的写真を抽出し、1版相当サイズで印刷（A4版用紙に1ページ3枚）印刷したもの1部

耐震措置

国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計・施工指針」による。

発生材処分

発生材を処分する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「再生資源の利用の促進に関する法律」に基づいて適正に処理する。（マニフェストA、D、Eの写しを提出すること）
建設リサイクル法（三重県指針）に基づき再生資源の十分な利用及び廃棄物の原料等を通じて、資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること。

その他

工事に必要な又は支障となる既設配管、機器の脱着については、図面に記載なくとも監督員の指示により行うこと。
工事着者前に漏水の有無を確認すること、又工事施工後の加圧試験等を監督員の指示により行うこと。

特記事項

● 地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示板、埋設シートを布設する。

● 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。

○ 防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能認定を受けた工法に基づく材料を使用すること。

● 建物導入配管（給水、ガス、消火）は十分な可撓性を有する変位吸収配管施工をおこなう。

○ 水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはV P管、他は紙製等のスリーブを使用することができる。

● 排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車道道路部600mm以上とする。

● 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

● 土間配管は土間前に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。

● 屋外露出及び多湿箇所（トレンチビット等）の配管架台は、SUS又はS S溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

● 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。

○ 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ステンレス製）とする。

共通事項

● 保温工事

● 保温施工範囲は共通仕様書による。

● 保温施工種別

○ 共通仕様書による。

● 下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）

屋内露出

グラスウール保温筒

合成樹脂カバー

屋外露出・多湿箇所

ポリスチレンフォーム保温筒

ステンレス鋼板仕上げ

天井・P S内

グラスウール保温筒

アルミガラスクロス

床下・暗室内

グラスウール保温筒

防水麻布（アスファルトプライマー）

● 保温厚さ

● 共通仕様書による。

● 下表による。（但し機器、煙道は共通仕様書による。）

80A以下

100～150A

200A以上

給排水管・給湯管・温水管・ドレン管

20mm

25mm

40mm

消火管（但し屋外・屋内露出のみ）

25A以下

32～200A

250A以上

冷水管・冷温水管

30mm

40mm

50mm

○ 冷媒配管の露出部は化粧ケース仕上げとする。

工事種別

屋外

屋内

屋外

屋内

給排水衛生設備

空調設備

給水設備

●

●

機器設備

○

排水設備

●

●

配管設備

○

衛生器具設備

●

ダクト設備

○

給湯設備

○

換気設備

●

ガス設備

○

排煙設備

○

消火設備

●

●

自動制御設備

○

ろ過設備

○

浄化槽設備

○

工事範囲

● 給水方式

● 水道直結方式

○ 高架水槽方式

○ 市水

○ 圧送方式

○ 圧力タンク

○ 回転数制御

○ 受水槽 本体

○ FR P製

○ 一体型

○ 複合板

○ 単板

○ パネル型

○ 複合板

○ 単板

○ ステンレス製

○ 一体型

○ パネル型

○ 鋼板製

○ 一体型

○ パネル型

○ 高架水槽 本体

○ FR P製

○ 一体型

○ 複合板

○ 単板

○ パネル型

○ 複合板

○ 単板

○ ステンレス製

○ 一体型

○ パネル型

● 配管材料

● ライニング鋼管

一 般

○ VA

● VB

○ VD

○ PA

○ PB

○ PD

地 中

○ VD

○ PD

○ SUS

● 硬質ポリ塩化ビニル管

一般・地中

● HI（屋内埋設は保温施工）

○ VP

○ ポリ管

○ さや管工法

○ 架橋ポリ管

○ 直結部分

● 水道業者指定品

その他の部分

○ JIS 5 kgf/cm2

● JIS 10 kgf/cm2

● 弁 類

○ 貸与品

○ 買取品（私設）

○ 要

○ 別途工事

○ 本工事

● 不要

● その他

● ウォーターハンマーが生じる恐れのある配管経路は有効な防止機器を取付ける

● 給水配管（HI）は抜け防止措置を施すこと

● 排水方式

屋 内

● 分流方式

● 合流方式

屋 外

○ 分流方式

● 合流方式

雨 水

● 分流方式

● 合流方式

汚 水

● 下水管

○ 浄化槽

○ 合併処理槽

○ 既存槽

雑排水

● 下水管

○ 合併処理槽

○ 側溝又は河川

○ 既存槽

雨 水

○ 雨水管

○ 調整池

○ 側溝又は河川

○ 既存槽

● 配管材料

屋内汚水管

○ メカニカル形排水鋳鉄管

○ 排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はMD継手）

● 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）

○ 耐火被覆ビニル管

雑排水管

○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

○ 排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はMD継手）

● 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）

○ 耐火被覆ビニル管

○ 耐熱塩化ビニル管（HT）

通気管

○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

● 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）

○ 耐火被覆ビニル管

屋外排水管

○ 遠心力鉄筋コンクリート管（外圧管

○ 2種

○ 1種）

● 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）

● 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）[150以上]

● 樹 類

● 公団形（B種）

○ 現場打ち

○ 市販樹

● 小口径

○ ビニル樹

○ その他

○ 各階に伸縮継手取付

● 大便秘洗浄方式

○ F V

○ 節水形

○ 低圧形

● 洗浄タンク

● 水 栓

● 節水コマ（泡沫式は除く）

○ 普通コマ

○ その他

○ 和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける。

○ 給湯方式

○ 中央式

○ ボイラー

○ 温水機

○ ガス給湯器

○ 電気温水器

○ 局所式

○ ガス給湯器

○ 瞬間湯沸器

○ 電気温水器

○ 配管材料

○ 鋼管（○ M ○ L）

○ 被覆鋼管（○ M ○ L）

○ ステンレス鋼管

○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）[油]

○ 配管用炭素鋼鋼管（白）[温水]

○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管

○ 内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 [土中、暗渠]

○ 耐熱性硬質塩化ビニル管

○ さや管工法（○ 架橋ポリ管 ○ ）

○ 燃 料

○ 都市ガス

○ LPG

○ 灯油

○ A重油

○ 電気

○ ガスの種別

○ 都市ガス

（種別 13A 発熱量 10、750 kcal/m3）

供給事業者名：名張近鉄ガス

（発熱量 24、000kcal/kg）

供給事業者名：名張近鉄ガス

○ 配管材料

○ 液化石油ガス

○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

○ ビニル被覆鋼管 [地中埋設部]

○ ポリ管

○ 都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。

○ ボンベ

○ 別途工事

○ 本工事

ボンベ（○ 10kg ○ 20kg ○ 50kg ○ バルク 本数（t）

転倒防止鎖等（○ 本工事 ○ 別途工事）

○ 気化装置

○ 要

○ 電気式

○ 不要

○ メーター

○ 貸与品

○ 買取品

○ 本工事

○ 別途工事

○ 一般形

○ 自動遮断弁付

○ 引込納付金等

○ 要

○ 別途工事

○ 本工事

○ 不要

○ その他

○

● 消火設備の種別

● 屋内消火栓

○ 屋外消火栓

○ スプリンクラー

○ 泡消火

○ 粉末内消火

○ 連結送水管

○ 連結散水管

○ 移動粉末消火

○ フード消火

○ 消火器

● HB-1A

○ HB-1B

○ HB-2A

○ HB-2B

○ HB-3A

○ HB-3B

○ HB-4A

○ HB-4B

○ S

○ 屋外消火栓箱

○ HB-21

○ HB-22

○ HB-11A、B

○ HB-12A、B

● 配管材料

● 鋼管（● JIS G 3452 ○ JIS G 3454）

● 消火用塩ビ外面被覆鋼管（VF）

○ 消火栓弁

○ JIS 10 kgf/cm2

● その他

● 消火栓箱は指定色焼付塗装とする。

○ ろ過方式

○ 砂

○ フィルター

○ 制 御

○ 全自動

○ 手動

○ 配管材料

○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管

○ 耐熱性硬質塩化ビニル管

○ その他

○

○ 方式・容量

○ 合併

○ 単独

算定人員 人 槽 処理水量 m3/日

○ 材 質

○ FR P製

○ コンクリート既製管

○ RC躯体

○ 補強スラブ

○ 要

○ 不要

○ その他

○

○ 設計空気条件
(指示なきは建設省建築設備設計基準による)

<夏季>

乾燥温度℃

湿球温度℃

相対湿度%

外気条件

室内条件

28.0

<冬季>

乾燥温度℃

湿球温度℃

相対湿度%

外気条件

室内条件

19.0

○ 熱源機器

○ 冷水水発生機

○ チラー（○ 空冷HP ○ ガスHP ○ 水冷HP ○ 水冷）

○ 温水ボイラー

○ 氷蓄熱

○ 放熱器

○ EHP

○ GHP

○ FCU

○ ACU

○ その他

○ 冷媒ガス漏れ検知器：12個（小部屋対象）

○ 配管方式

○ 冷媒配管

○ 冷温水配管

○ 冷却水配管

○ 温水配管

○ 配管材料

○ 冷媒管

○ 冷媒用鋼管

○ 冷媒用被覆鋼管：ガス管保温厚20mm、液管保温厚8～10mm

○ 冷温水管

○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管

○ 冷水・温水管

○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管

○ 冷却水管

○ ライニング鋼管（○ VA ○ VB）

○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）

○ ドレン管

○ 屋内露出：結露防止用保温付硬質ポリ塩化ビニル管

○ 屋外露出：カラー硬質ポリ塩化ビニル管

○ 地中：硬質ポリ塩化ビニル管

○ 油管

○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）

○ 外面塩ビ被覆鋼管

○ 蒸気管

○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）

○ 弁 類

○ JIS 5 kgf/cm2

○ JIS 10 kgf/cm2

呼び径100A以上の弁は係員と協議の上バタフライ弁を使用して下さい。

○ その他

○

○ 風 道

○ 低速風道

○ 高速風道

○ 風道材質

○ 亜鉛鉄板

○ 塩化ビニルライニング鋼板

○ ステンレス鋼板

○ グラスウールダクト

○ 消音フレキ

○ 吹出口・吸込口

○ アルミニウム製

○ 鋼板製（指定色焼付塗装）

○ その他

○

● 換気方式

● 集中換気

● 個別換気

○ 風 道

○ 低速風道

○ 高速風道

○ 風道材質

○ 亜鉛鉄板

○ 塩化ビニルライニング鋼板

○ ステンレス鋼板

○ 硬質塩化ビニル管（VU）

○ スパイラルダクト

○ 吹出口・吸込口

○ アルミニウム製

○ 鋼板製（指定色焼付塗装）

○ 耐火被覆

○ 湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。

○ その他

○

○ 風道材質

○ 亜鉛鉄板

○ 普通鋼板（厚1.6mm）

○ 排煙口

○ 天井取付（○ スリット形 ○ スイング形）

○ 排煙口開放装置

○ 手動

○ 手動及び遠隔操作可能なもの

○ 復帰方式

○ 遠隔形

○ 手元形

○ 排煙風量測定

○ 建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。

○ その他

○

● 制御方式

○ 電子

○ 電気

○ 空気

● その他

○

○ 補助設備

メーカースリスト

下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。

管

継手共

水マーク表示品/WSP表示品/JISマーク表示品/HASS表示品/JPF規格品/SAS規格品

弁

青銅弁・鋳鉄弁

JISマーク表示品

保温材

RW・GW保温材

JISマーク表示品

ポンプ

ポンプ類

評価事業名簿による

衛生器具

衛生器具類

JISマーク表示品 JIS規格以外：INAX/TOTO

水槽

FRP水槽

積水プラント/日立化成/ブリジストン/三菱樹脂

鉄ハネル水槽

積水プラント/ブリジストン

樹

樹類（公団型）

協和コンクリート/桑名工業/昭和工業/ネオジオ/丸八産業

樹類（塩ビ樹）

日本下水道協会、排水設備用樹脂製マス協会規格対象品又は準拠品

鋳鉄製品

排水金物

オオタケファンドリー/カネソウ/ダイドレ/中部コーポレーション/南濃鋼工/福西鋳物/ホクキャスト

鋳鉄製蓋

評価事業名簿による

量水器

量水器

愛知時計電機/金門製作所/リコーエレメック

ガス器具

ガス配管器具

伊藤工機/桂精機製作所/藤井合金製作所/富士工器

ガス給湯器（都市ガス）

ガス供給者の承認する製造者の製品

ガス給湯器（LPG）

「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、省令による証票を付したもの

ガス警報

ガス警報システム

金門製作所/富士工器/富士電機/松下電工/矢崎総業

厨房機器

厨房システム

評価事業名簿による

濾過装置

濾過機

オルガノ/栗田工業/サンエイ工業/三協/三進ろ過工業/タクマ/理水化学工業

減菌機

減菌機

磯村製作所/オーヤラックス/水道機工/日本曹達

消火設備

消火栓類

立売堀製作所/岸本産業/北浦製作所/村上製作所/横井製作所

消火栓ホース

日本消防検定協会の合格表示品

スプリンクラー・泡消火

ノーミ/ニッタン/日本ドライケミカル/能美防災/ホーチキ

特殊消火

川重防災工業/セコム/日昭・林テクノス/日信防災/ニッタン/能美防災

グリストラップ

グリス・ガソリントラップ

カネソウ/栗本鐵工所/下田機工/積水プラントシステム

製缶類

製缶類・熱交換器

島倉鉄工所/広島鉄工/ベルテクノ/前田鉄工所/前田鉄工所（四日市）/森松工業

空気調和機

パッケージ形空調機

パナソニック/ダイキン/東芝/日立製作所/三菱電機

ガスエンジン空調機

パナソニック/アイシン/ヤンマー/ダイキン

防振装置

防振材・防振装置

倉敷化工/高砂ゴム/特許機器/ブリヂストン/明和ゴム化成

加湿器

加湿器

ウェットマスター/ピーエス工業/山武製装

送風機

送風機類

評価事業名簿による

換気扇

換気扇類

栗田工業/東芝/日立製作所/松下電器産業/三菱電機

ダクト付属品

吹出口・吸込口

空研工業/新晃工業/トーキン/錦興業

風量ユニット

エアコンスター/クボタ/新晃工業/東アレ

ダクト

亜鉛鉄板

JIS規格品

ステンレス鋼板

JIS規格品

スパイラルダクト

大坂ラセン管工業/栗本鐵工所/泰弘/富士空調工業/フジモリ産業

フレキダクト

アライ実業/オーツカ/栗本鐵工所

自動制御

自動制御機器

トキメックランディスギア/山武ハネウェル/横河ジョンソンコントロールズ

PROJECT NO.

新居小学校屋内運動場大規模改造工事

DRAWING

機械設備 特記仕様書

SCALE

APPROVED

CHECKED

DRAWN

DATE

'19.03.

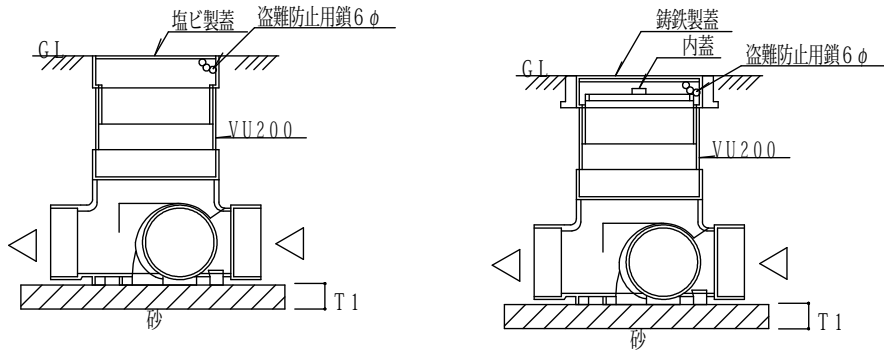
DRAWING NO.

M-1(6)

凡 例

記 号	名 称	記 号	名 称	記 号	名 称
———	給水管（直圧給水）	⌒	給水栓	———	スパイラルダクト
———	屋外排水管	⌒	フラッシュ弁	———	撤去機器・配管類を示す
———	汚水・雑排水管	①— ①—	床上掃除口	———	既設撤去機器・配管類を示す
———	通気管	⌒	天井換気扇・排気ファン		
———	仕切弁	⌒	パイプフード		

汚水小口径機（参考図）



衛 生 器 具 表

名 称	参考品番（TOTO）	参考品番（LIXIL）	合 計	男 子 便 所	女 子 便 所	多 目 的 便 所
洋風便器	CS597BS, SH596BAYR, TC300（普通便座）, YH702（二連紙巻器）	BC-P20S, DT-PA250CHTK, CF-39AT（普通便座）, CF-63HST（二連紙巻器）	5	2	3	
洋風便器	CS597BCS, SH596BAYR, TCF580AUP（温水器付洗浄便座：蓋なし）, YH702（二連紙巻器）	BC-P20SM, DT-PA250CHTK, CW-PC12QD-NECK-UR（温水器付洗浄便座：蓋なし）, CW-201TJ, CF-008-1, CF-63HST（二連紙巻器）	1			1
L型手すり	T112CL11, 固定金具共	KF-926AER80D25, 固定金具共	1			1
はねあげ手すり	T112HK7, 固定金具共	KF-471EH70, 固定金具共	1			1
背もたれ	EW C385CS, 固定金具共	KFC-271T1U2, 固定金具共	1			1
センサー一体型小便器	UFS900R	U-A51AP	3	3		
小便器用手すり	T112CU2, 固定金具共	KF-701AE, 固定金具共	1	1		
掃除流し	SK22A, T23AE20C, T37SGEP, TN114, T9R, TK22, HH04060	S-202A, LF-7KE-19, SF-20SAF-P（AY）, SF-202, SF-10E（AY）	1		1	
カウンター一体型洗面器	L270CM, TEN77G1（自動単水栓）, T7SW1, T6BR, T156PH, TL220D, TS126AR（水石融入れ）	L-275FCRS, AM-211V1（自動単水栓）, LF-275SAU, SF-10E, KF-30DN, KF-24F（水石融入れ）	1			1
はめ込み洗面器	L548U, TEN41A（自動単水栓）, T7PW1, TS126BR（水石融入れ）	L-2295, AM-200V1（自動単水栓）, LF-281PAU, KF-24L（水石融入れ）	3	1	2	
マーブライトカウンター	ML60（オニックス：L=800）, 3方向エプロン, ブラケット架台 洗面器1個用	MB-600SS（L=800）, 3方向エプロン, ブラケット架台 洗面器1個用	1	1		
マーブライトカウンター	ML60（オニックス：L=1500）, 2方向エプロン, ブラケット架台 洗面器2個用	MB-600SS（L=1500）, 2方向エプロン, ブラケット架台 洗面器2個用	1		1	
化粧鏡	YM4575A（450X750）	KF-W450H750	1			1
化粧鏡	YM4560A（450X600）	KF-4560A	3	1	2	

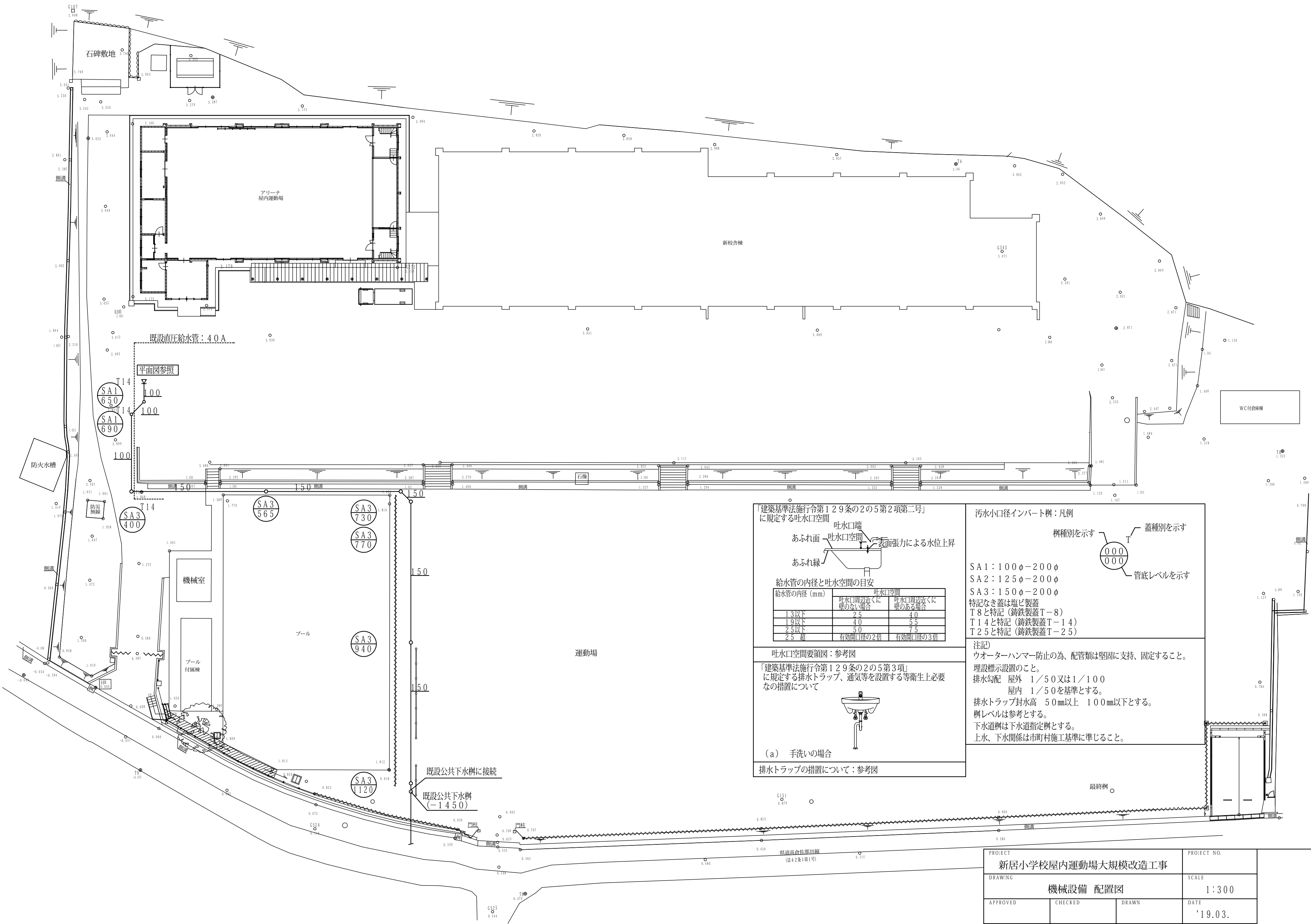
衛 生 機 器 表

品 名	機 器 名 称	機 器 仕 様	合計
HB-1A	易操作性1号屋内消火栓箱	形式： 二段式（露出・LS付） 1350HX750WX200D	1
		付属品： 開閉弁30A, 噴霧・棒状岐切替ノズル, 保形ホース（30AX30m）他付属品一式	

換 気 機 器 表

記 号	機器名称	形 式 ・ 仕 様	電 気 容 量			台数	備 考
			相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (W)		
VF- 1	パイプ用ファン	形 式	角形電気式シャッター：電源コード（プラグ付）			2	設置場所： 男子・女子用便所
		風 量	280	m3/h			
		ダクト径	200	φ			
		静 圧	3	Pa			
		付 属 品	SUS製深形パイプフード：ガラリ付, その他付属品共				
VF- 2	パイプ用ファン	形 式	角形：電源コード（プラグ付）			1	設置場所： 多目的便所
		風 量	150	m3/h			
		ダクト径	150	φ			
		静 圧	4	Pa			
		付 属 品	SUS製深形パイプフード：ガラリ付, その他付属品共				
電源容量は参考数値とする。		機器は同等品以上とする。					

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 機械設備 凡例・器具機器表			SCALE	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. M-2	



「建築基準法施行令第129条の2の5第2項第二号」に規定する吐水口空間

吐水口端
吐水口空間
表面張力による水位上昇
あふれ面
あふれ縁

給水管の内径と吐水空間の目安

給水管の内径 (mm)	吐水口空間	
	吐水口周辺近くに壁のない場合	吐水口周辺近くに壁のある場合
13以下	2.5	4.0
19以下	4.0	5.5
25以下	5.0	7.5
25 超	有効開口径の2倍	有効開口径の3倍

吐水口空間要領図：参考図

「建築基準法施行令第129条の2の5第3項」に規定する排水トラップ、通気等を設置する等衛生上必要な措置について

(a) 手洗いの場合

排水トラップの措置について：参考図

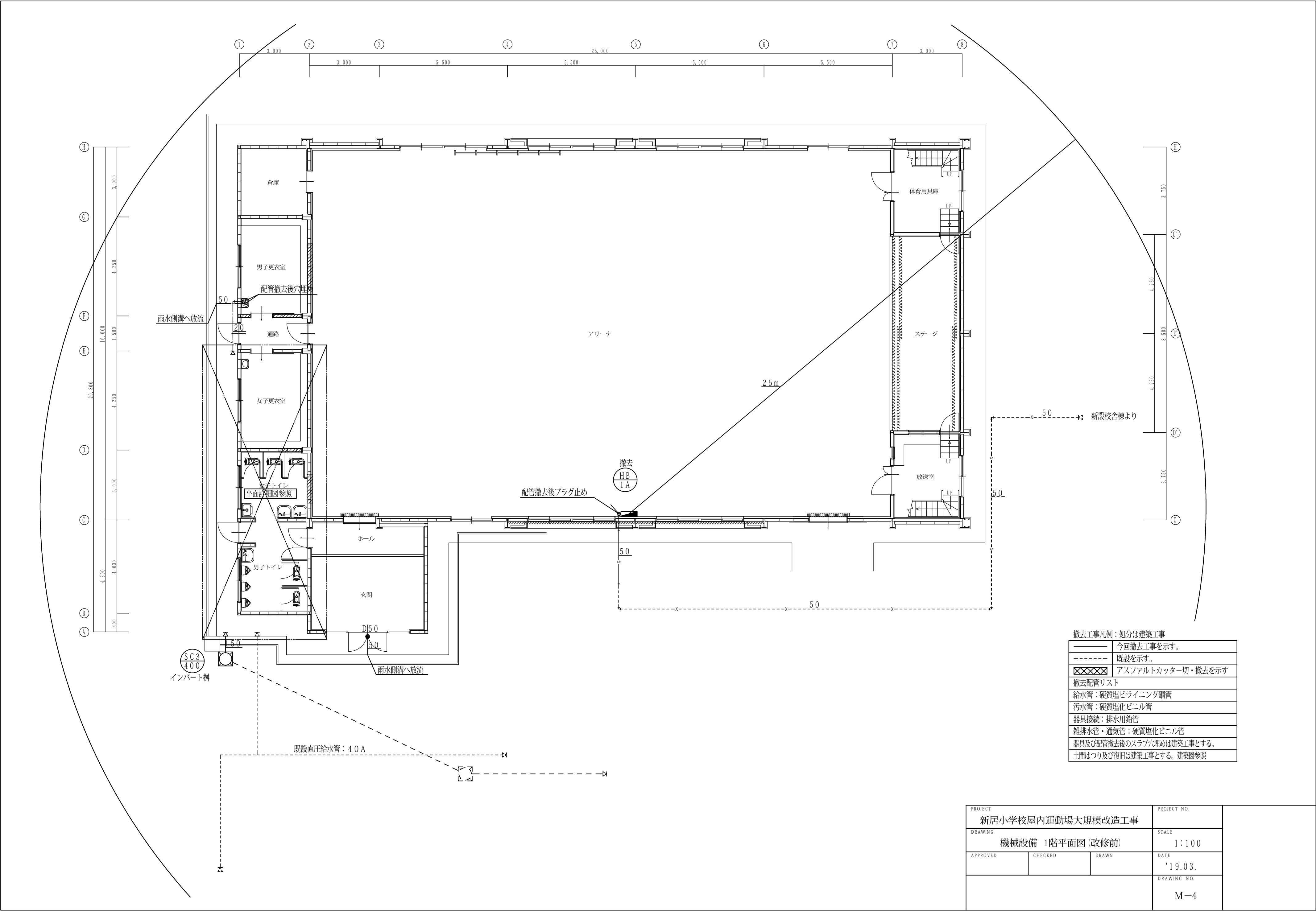
汚水小口径インバート樹：凡例

樹種別を示す
蓋種別を示す
管底レベルを示す

SA1：100φ-200φ
SA2：125φ-200φ
SA3：150φ-200φ
特記なき蓋は塩ビ製蓋
T8と特記（鋳鉄製蓋T-8）
T14と特記（鋳鉄製蓋T-14）
T25と特記（鋳鉄製蓋T-25）

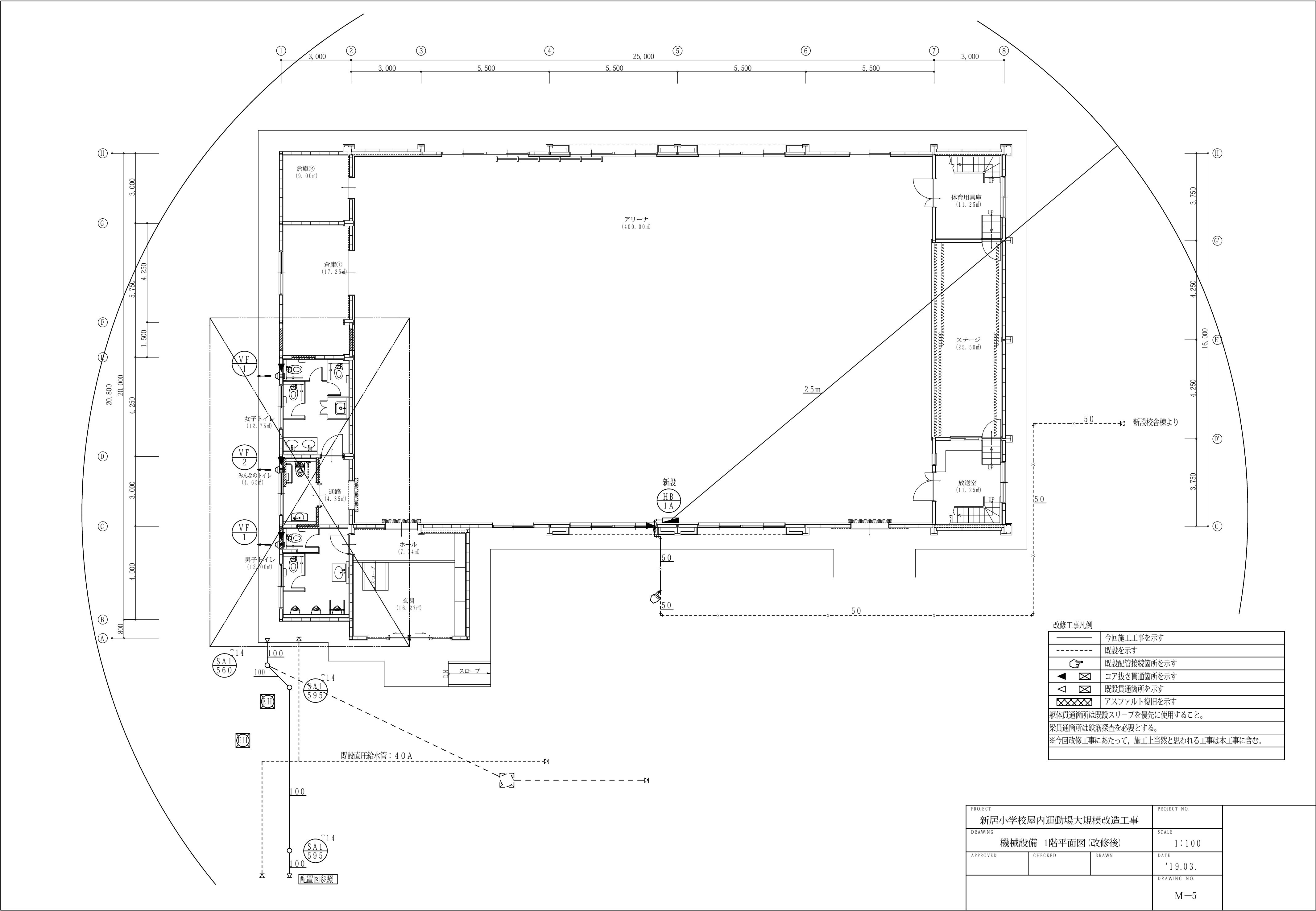
注記）
ウォーターハンマー防止の為、配管類は堅固に支持、固定すること。
埋設標示設置のこと。
排水勾配 屋外 1/50又は1/100
屋内 1/50を基準とする。
排水トラップ封水高 50mm以上 100mm以下とする。
樹レベルは参考とする。
下水道樹は下水道指定樹とする。
上水、下水関係は市町村施工基準に準じること。

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.
DRAWING 機械設備 配置図			SCALE 1:300
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. M-3



撤去工事凡例：処分は建築工事	
———	今回撤去工事を示す。
-----	既設を示す。
XXXXX	アスファルトカッター切・撤去を示す
撤去配管リスト	
給水管：硬質塩ビライニング鋼管	
污水管：硬質塩化ビニル管	
器具接続：排水用鋁管	
雑排水管・通気管：硬質塩化ビニル管	
器具及び配管撤去後のスラブ埋めは建築工事とする。	
土間はつり及び復旧は建築工事とする。建築図参照	

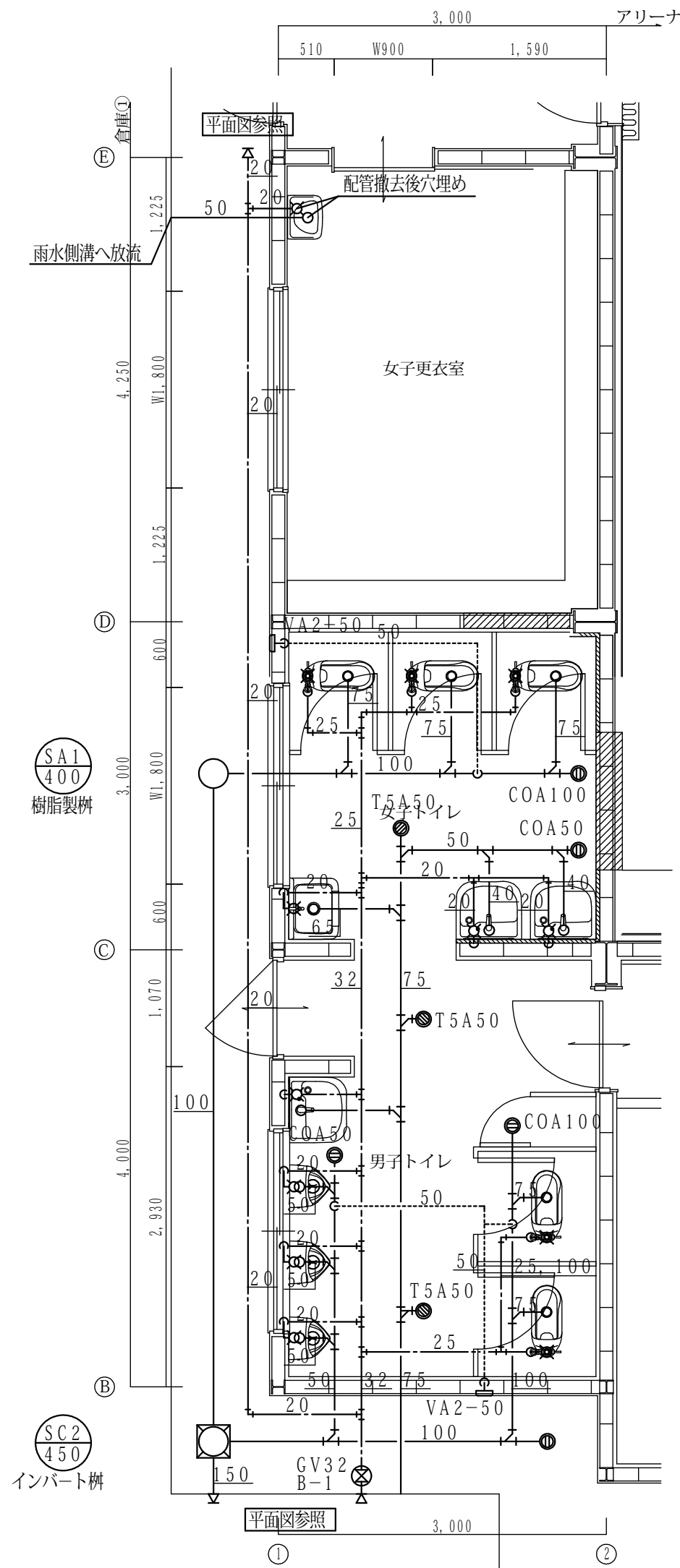
PROJECT			PROJECT NO.
新居小学校屋内運動場大規模改造工事			
DRAWING			SCALE
機械設備 1階平面図 (改修前)			1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			'19.03.
			DRAWING NO.
			M-4



改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
	アスファルト復旧を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。	
※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。	

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.	
DRAWING 機械設備 1階平面図 (改修後)			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. M-5	

改修前



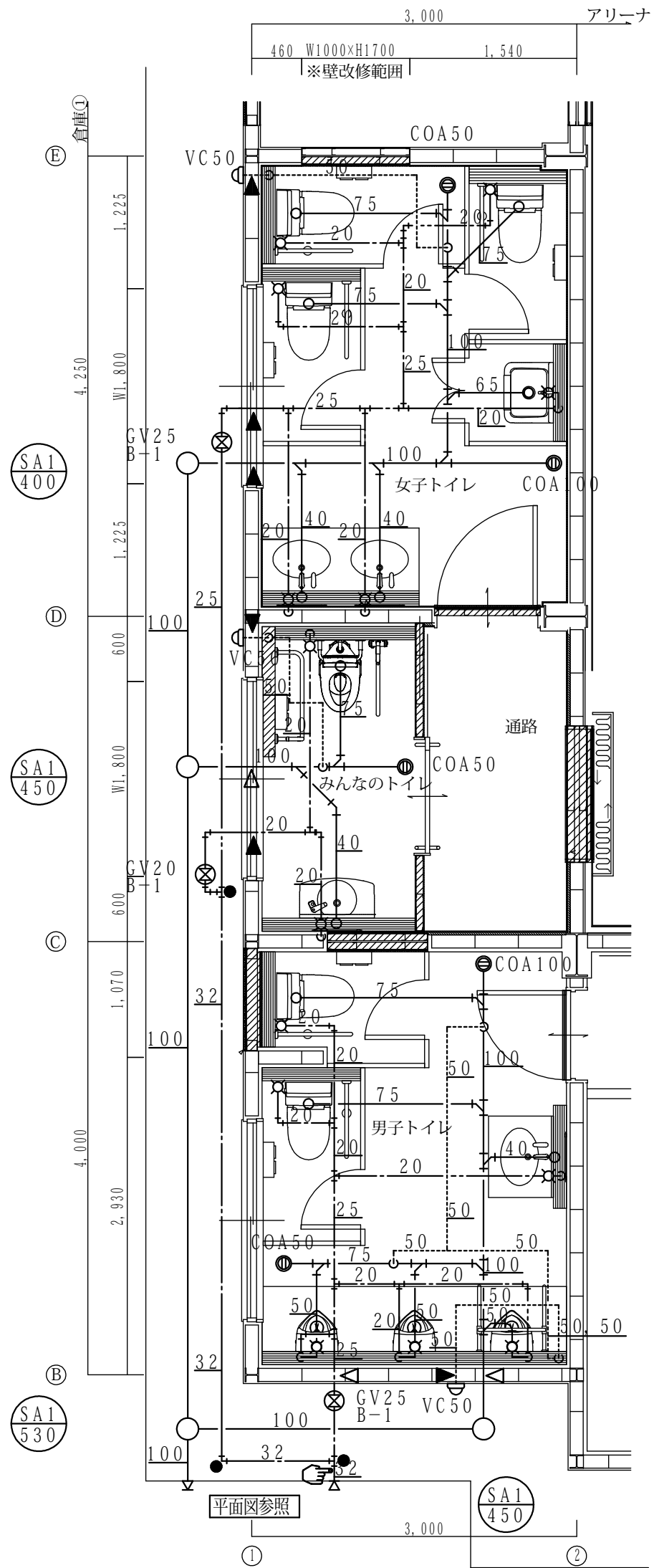
衛生器具類撤去一覧表：撤去、処分は建築工事

衛生器具表	品番及び付属品	男子 トイレ	女子 トイレ	女子 更衣室	男子 更衣室
和風便器	C 2 5 2 B, F V, 他付属品共	2	3		
小便器	U 1 0 0, 他付属品共	3			
掃除流し	S 2 0 2, 他付属品共		1		
洗面器	L 1 4 4 G, 他付属品共	1	2	1	1
化粧鏡	K F 3 0 4 5	1	2	1	1
化粧棚	H 3 1	1	1	1	1

撤去工事凡例：処分は建築工事

——	今回撤去工事を示す。
——	既設を示す。
XXXX	アスファルトカッター切・撤去を示す
撤去配管リスト	
給水管：硬質塩化ビニリング鋼管	
污水管：硬質塩化ビニル管	
器具接続：排水用鉛管	
雄排水管・通気管：硬質塩化ビニル管	
SA 1：樹脂製樹360φ	
SC 2・3：インバート樹450角，600角	
器具及び配管撤去後のスラブ穴埋めは建築工事とする。	
土間はつり及び復旧は建築工事とする。建築図参照	

改修後



改修工事凡例

——	今回施工工事を示す
——	既設を示す
→	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
◁	既設貫通箇所を示す
XXXX	アスファルト復旧を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。	
※今回改修工事にあたって，施工上当然と思われる工事は本工事に含む。	

衛生器具類撤新設一覧表

衛生器具表	品番及び付属品	男子 便所	女子 便所	多 目的 便所
洋風便器	CS 5 9 7 B S, SH 5 9 6 B A Y R, 付属品共	2	3	
洋風便器	CS 5 9 7 B C S, SH 5 9 6 B A Y R, 付属品共			1
L形手すり	T 1 1 2 C L 1 1			1
はねあげ手すり	T 1 1 2 H K 7			1
センサー一体型小便器	U F S 9 0 0 R	3		
小便器用手すり	T 1 1 2 C U 2	1		
掃除流し	S K 2 2 A, 付属品共		1	
洗面器	L 2 7 0 C M, T E N 7 7 G 1, 付属品共			1
はめ込み洗面器	L 5 4 8 U, T E N 4 1 A, 付属品共	1	2	1
カウンター	M L 6 0 (オニックス：L=800)	1		
カウンター	M L 6 0 (オニックス：L=1500)		1	
化粧鏡	Y M 4 5 6 0 A		2	
化粧鏡	Y M 4 5 7 5 A			1

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.	
DRAWING 機械設備 1階平面詳細図 (改修前・改修後)			SCALE 1:50	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.	
			DRAWING NO. M-6(E)	